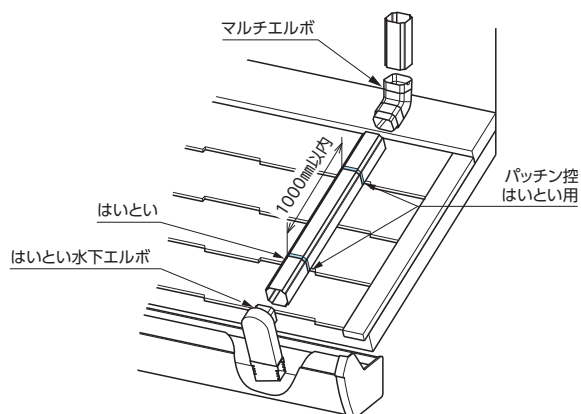
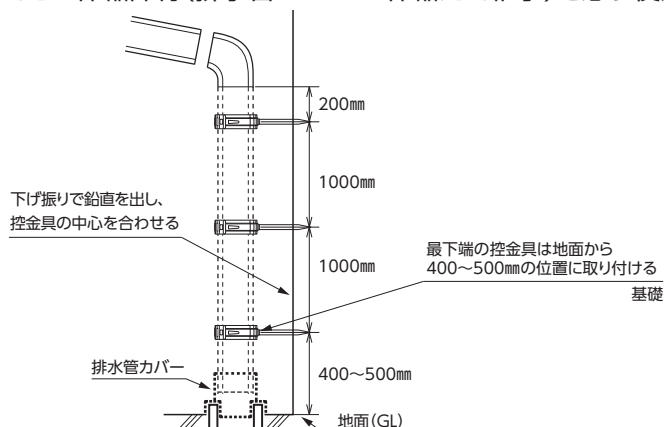


② 控金具の施工

1 たてとい基準

- たてとい控金具は金具間隔を1000mm以内で取り付けます。
- たてとい伸縮部材(排水管カバー・伸縮たて継手)を必ず使用し伸縮を吸収できるようにします。



■ たてとい伸縮部材ご使用の目安

建物高さ H(m)	6m (2階建て)	9m (3階建て)※	12m (4階建て)※
組み合わせ	伸縮たて継手または 排水管カバー	伸縮たて継手 + 排水管カバー	伸縮たて継手 + 伸縮たて継手 + 排水管カバー

※3階建て以上では、伸縮たて継手と排水管カバーの両方ご使用ください。(PC30・S30、60、75)
排水管カバーが使用できない場合は、伸縮たて継手を2か所ご使用ください。

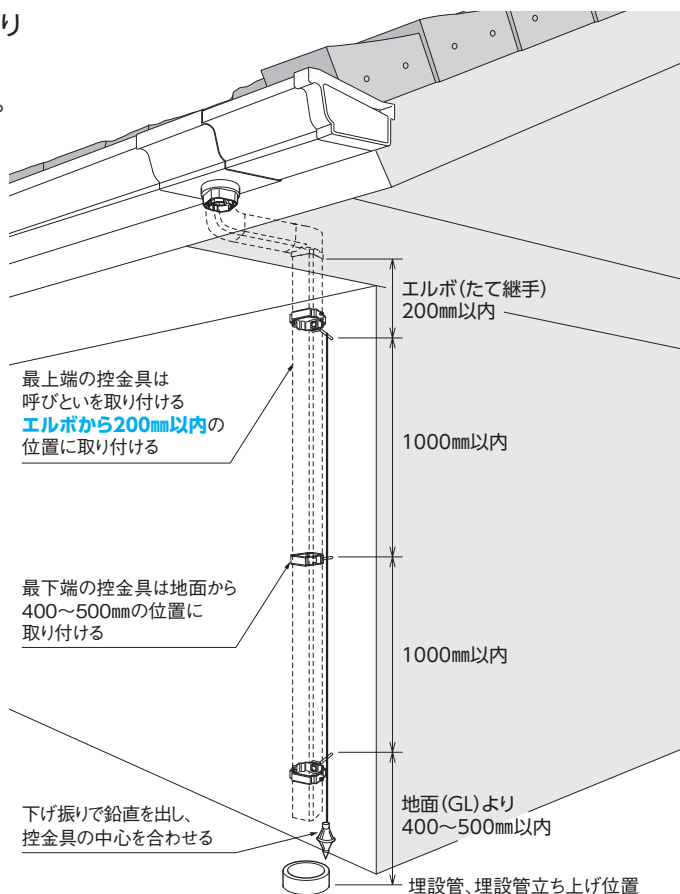
2 金具の位置決定

- 落とし口、もしくは落とし口から直交する壁面より下げ振りなどを用いて通り(垂直)を確認する。
1000mmを超えないピッチで打ち込み位置を決める。

- 控金具の取り付け間隔は1000mm以内。

お願い

- サイドグリップ方式の控金具PC30は、強風でたてといが外れるおそれがありますので、溝部にしっかりはめ込んでください。また、3階建て以上は、控金具の取り付け間隔を800mm(一般は1000mm)に狭めてください。



【バルコニー、壁面から落とす場合の金具位置】

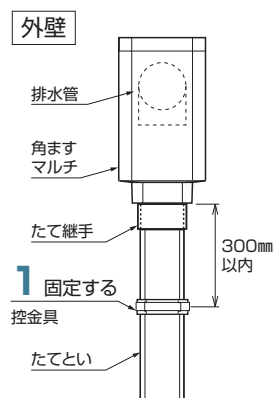
●壁面から垂直に落とす場合

- 1 接続するたてといの上部を控金具で固定する。

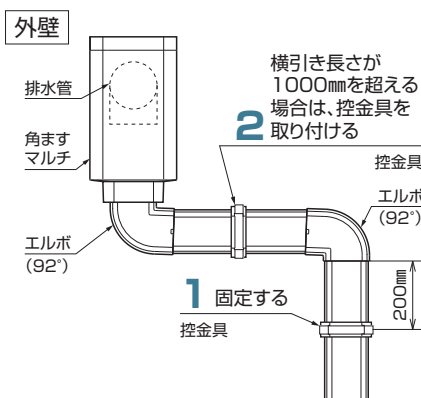
●壁面から横に振って落とす場合

- 1 接続するたてといの上部を控金具で固定する。
- 2 たてといの横引き長さが1000mmを超える場合は、控金具を施工する。

壁面から垂直に落とす場合



壁面から横に振って落とす場合



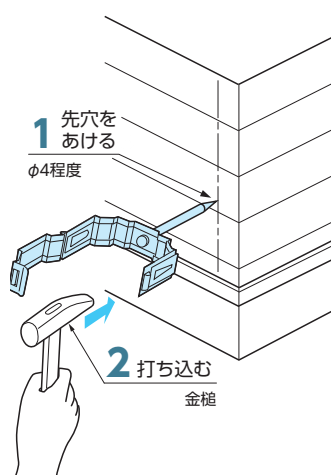
3 金具の取り付け

【打込み金具の場合(木造下地)】

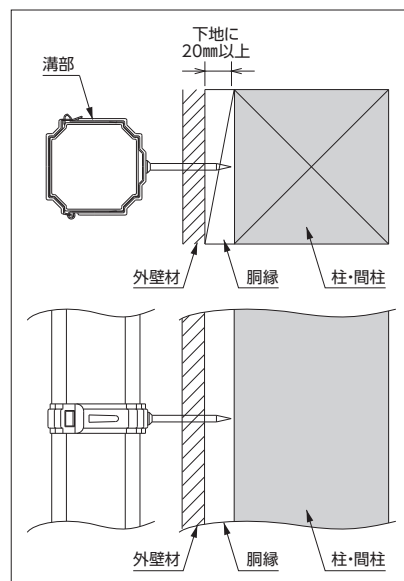
- 1 表面がサイディングの場合、割れ防止として先穴をあける(φ4程度)
- 2 打込み用を直接金槌で打ち込む。

お願い

- 控金具(打込み)ご使用の場合、釘周辺部にシーリングをして、雨水浸入防止のための処理をしてください。シーリングは概築の壁材の種類に応じた物をご使用ください。

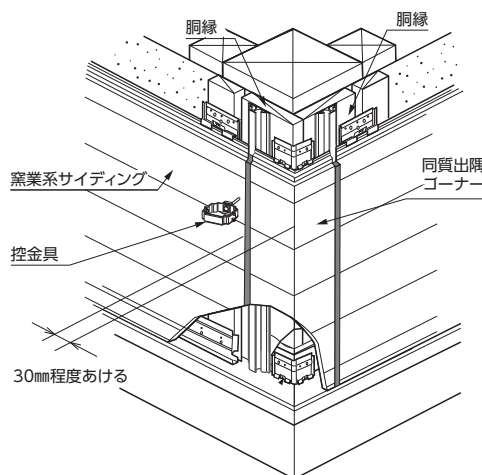


■納まり参考図



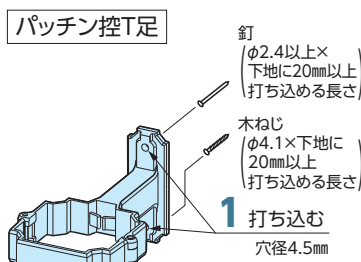
控金具のサイディングへの施工上の注意点

- 固定場所は、サイディングの裏に胴縁などの構造部材のある場所に、その構造部材にまで達するように打ち込んでください。(サイディング部分のみで固定すると保持力が無いため、サイディングの割れや控金具の抜けが発生する場合があります。)
- サイディングの各端面より30mm程度あけて固定してください。(サイディングが破損する可能性があります。)
下地が無い場合は落し口の位置を変更することで対処してください。
※品種や下地、相じゃくりの有無で端面からの距離が変わります。
詳細はケイミュー株式会社にご相談ください。
- シーリング部へは施工しないでください。

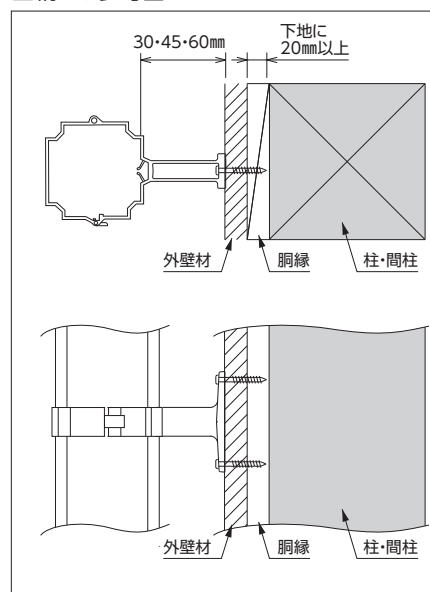


【T足金具の場合(木造下地)】

- 1 パッチン控T足を木ねじまたは、釘で固定する。



■納まり参考図

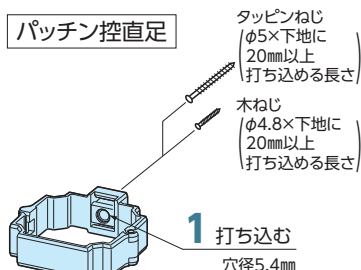


【直足金具の場合(木造下地)】

- 1 パッチン控直足の場合は木ねじまたは、タッピンねじで固定する。

お願い

- 固定釘類は材質が鉄製を使用しますと赤さびが発生するおそれがありますので、さびにくいステンレス製をおすすめいたします。
- 直足金具に使用するねじ・釘の頭径は9～10mmの物をご使用ください。

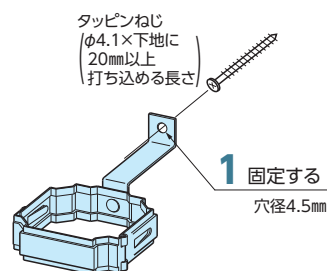


【鉄骨用金具の場合(鉄骨下地)】

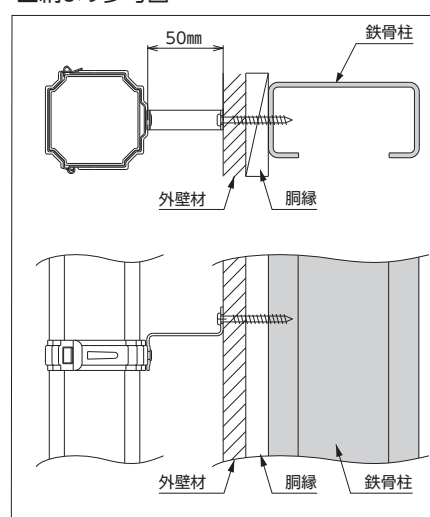
- 1 タッピンねじで固定する。

ポイント

- 窯業系サイディングの場合直打ちすると割れるおそれがありますので先穴をあけてください。
- 窯業系サイディングで表面に凸凹がある場合は打込み用をご使用ください。鉄骨用を使用すると金具の出寸法がふざろいになり溝部にはまらない場合があります。

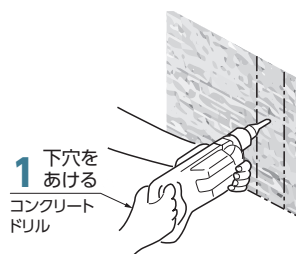


■納まり参考図



【鉄骨用金具の場合(RC造)】

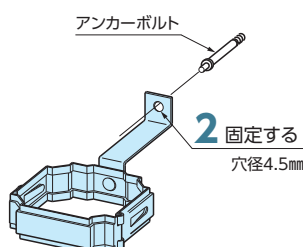
- 1 コンクリートドリルで下穴をあけて、アンカーボルトの施工を行う。



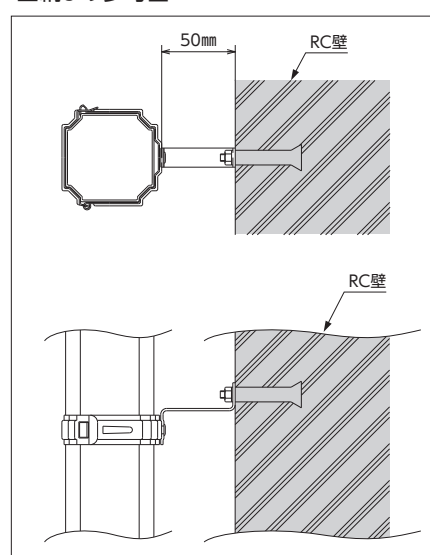
- 2 打ち込みアンカーボルトで固定する。

お願い

- アンカーボルトは製造元に確認いただき、十分な抜け強度がある物を選定ください。



■納まり参考図



4 控金具へのたてといの取り付け

【S30、たてとい(45、60、75)の場合】

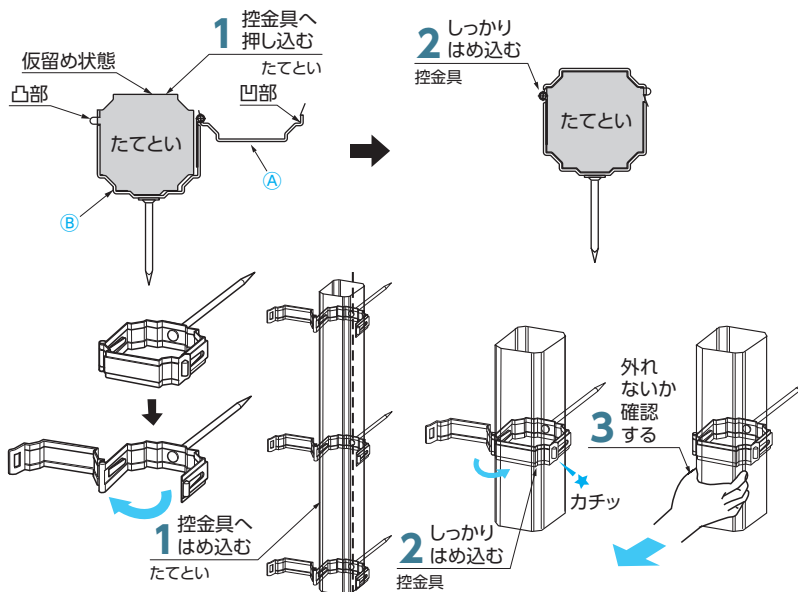
1 たてといを控金具②へはめ込む。

2 ②を手前に回し②凹部を②凸部へ
しっかりはめ込む。

ポイント

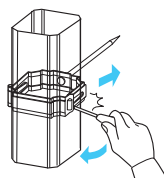
- 仮留めする場合は(A)を開き(B)へ
たてといを押し込んでください。
このままで仮留めされます。

3 たてとい取り付け後、手で控金具から
たてといが外れないか必ず確認する。



【たてといの外し方】

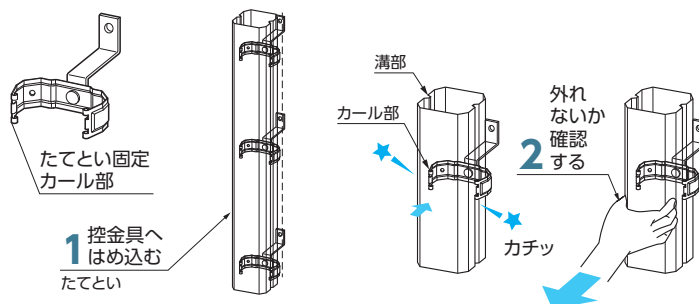
- ドライバーなどを使用して外す。



【PC30の場合】

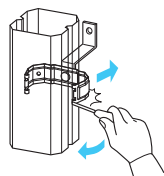
1 控金具のカーブ部をたてとい左右の
溝をはめ込む。

2 たてとい取り付け後、手で控金具から
たてといが外れないか必ず確認する。



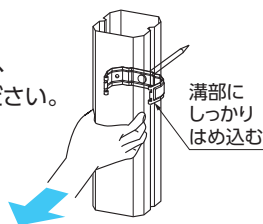
【たてといの外し方】

- ドライバーなどを使用して外す。



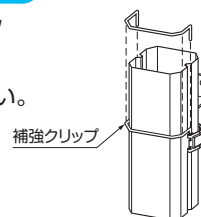
お願い

- PC30の場合は、強風などで
外れるおそれがありますので、
溝部にしっかりはめ込んでください。



補強クリップについて(PC30)

- 強風地域には飛散防止用の補強ク
リップを用意していますので、ケイ
ミュー(株)営業所へご相談ください。
(特注で対応可能です。)

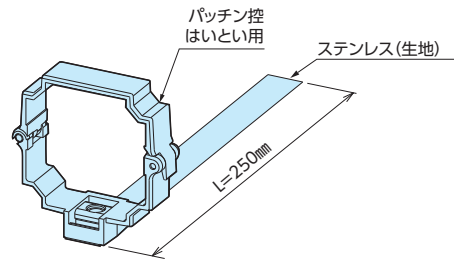


5 パッチン控 はいとい用の取り付け



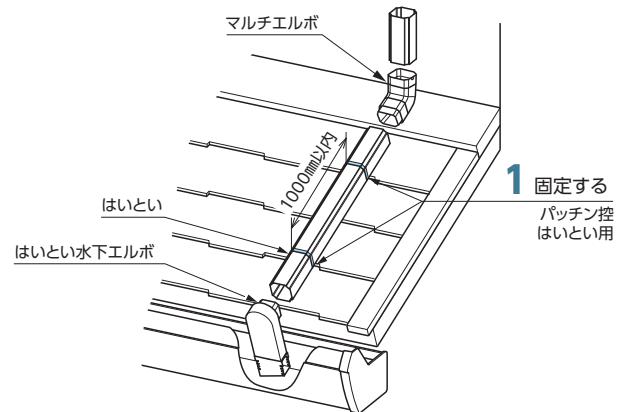
動画で見る
雨とい 施工動画集
<https://www2.panasonic.biz/lsumai/manual/movie/amatoi>

- 1 パッチン控 はいとい用を瓦に差し込んで、固定する。
接着剤は不要です。



■パッチン控 はいとい用の取り付け間隔

はいとい長さ	取り付け間隔
～1m	1か所(軒先側に施工する)
1m～2m	2か所(右図を参照ください)
2m～	1m以内になるように追加する



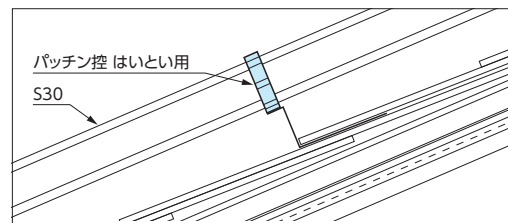
お願い

- 粘土瓦などで差し込みにくい場合は、少し先端を曲げると瓦の段差などに引っ掛かりにくくなり奥まで入りやすくなります。

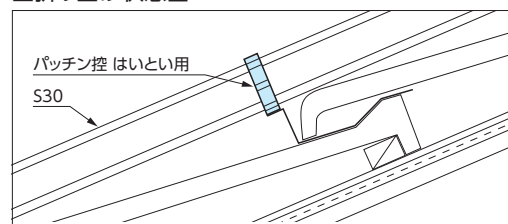


- 厚物瓦の場合は、瓦の形状に合わせて折り曲げて、取り付ける。

■折り曲げ状態図



■折り曲げ状態図



【針金などで縛る場合】

- 下地より銅線やステンレス線を回し、はいといを縛る。
軒先部は鼻隠し板から銅線などを回し縛る。

